

隣保館だより

編集 下樓隣保館 〒689-4526 日野町下樓157番地1

電話：72-1191 (FAX兼)

E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



21人が熱戦 第32回新春囲碁・将棋大会



楽しみながらも真剣に

1月11日、老人憩の家（下樓）で、恒例の新春囲碁・将棋大会が開かれました。前日から雪が残る中、町内外から21人が参加しました。山本武史教育長から激励のあいさつとあつと、将棋と囲碁に分かれて、熱戦が繰り広げられました。各優勝者は次のとおりです。▽将棋の部Ⅱ石田三千人さん（下樓）▽囲碁の部Ⅱ「上級者」西村敏昭さん（下樓）、「初級者」遠藤基一さん（根雨）

差別の歴史を学び、この一年を振り返る 榎の実学習会

▽中学生
今回の学習会では、歴史学習として、「ケガレ」について学習しました。

まず、大相撲について、まき塩はなぜするのかや、女性知事が土俵に上がることでできなかつたのはなぜかなど、クイズ形式に問題を考えていくことから始めました。また、室町時代、祖父から3代にわたり銀閣寺の庭園を手がけた庭造りの名人、又四郎について学びました。彼らは、河原者（河原に住

んでいた）であることで差別されていた。ある時、又四郎は親しかった相国寺の周麟というお坊さんに次のことをつぶやいたそうです。

「私は、人々から差別される立場にあることを心から悲しいと思う。ゆえに、誓って生き物を殺さないようにしているし、決して物に対して欲を出さないようにしている」

これを聞いた周麟は、「又四郎こそ人間である」と言っ

たといわれています。どうして周麟はそう言ったのでしょうか？皆さんも考えてみてください。

▽小学生

1月27日の学習会で、「榎の実学習会の思い出」として作文を書きました。

この一年間を振り返って、楽しかったことや悲しかったこと、よくできたこと、できなかつたことなど、それぞれの思い出を書きました。そして、来年度の学習会で、もっと力を出してやりたいこと、頑張りたいことについても書きました。

絵柄が自由に選べる食器づくり ポセラーツ教室



転写紙を貼って焼き上げれば完成

1月23日、ポセラーツ教室を開きました。今回は、いろいろな形の皿や茶碗などに挑戦。カップや茶碗のように湾曲した物に転写紙（絵柄が入ったシール）を貼るのは難しいですが、丁寧な指導により、少しずつ取り組んでいきました。食器など、作る人の個性があふれるオリジナル作品を皆さんも作ってみませんか？

3月の学習講座予定

■編み物	3月14日（土）午後1時～	老人憩の家（講師：安達利子さん）
■生け花（草月流）	3月17日（火）午後7時30分～	（花代は当日集金） 下樓集会所（講師：生田清子さん）

▼日程など変更になることがあります。詳しくは下樓隣保館へ▼どの講座も2時間の予定です。町民どなたでも参加できますので、お気軽に参加ください

【なぜ座談会を?】

小地域座談会は、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題を解決し、誰もが安心して安全に、生きいきと暮らしている人権尊重社会(地域)を築いていくためのものです。

町人権・同和教育推進協議会では、全自治会が毎年開催し、地域みんなで話し合って考え、よりよい地域づくりを進めていただくことを目標にしています。

【どんな内容?】

同和問題、高齢者の人権、子どもの人権、女性の人権、障がい者の人権、外国人の人

権、アイヌ民族の人権、病気の人の人権、プライバシーの保護などのさまざまな問題を私たちの日常生活を振り返りながら話し合っています。

【人権問題はなぜ起こる?】

人は、家庭、地域、学校や会社、団体や組織、友達や各種グループなど、さまざまな社会の中で暮らしています。人権問題のすべては、それらの社会の中で、人と人とのかわり方で起こります。思い起こしてみましよう。家庭の中で、時に高齢者や子どもの意見や希望を無視したり、または邪魔と考えたり。

人が大切にされる 人権尊重の地域社会を つくるために

小地域座談会の全自治会開催を

町人権・同和教育推進協議会では、身の回りのあらゆる人権問題や課題を、地域の人たちみんなで話し合う、小地域座談会に取り組んでいます。

日野町人権・同和教育推進協議会広報紙 人権のまち ひの

2009年2月

地域活動では元気な人だけを対象に物事を決定したり。学校の中にはいじめや無視はありませんか。
会社や団体、組織の中でも、学校と同じようなことや、障がいのある人や女性など、誰でも公平に扱われていますか。友達やグループの活動では、内容や場所、参加方法や時間などの決定が、みんなに公平に行われていますか。

【誰のための人権?】

このように、身の回りのことについて考えてみれば、いつでも誰でも、人権の被害者にもなり、また加害者にもなる可能性があります。

人権について考えるとき、自分とは関係ない、誰か弱い立場の人の問題と考えがちではないでしょうか。

【解決のためには?】

私たちは、無意識のうちに自分中心に発言したり行動したり、多数意見にたやすく賛同したり、また女性や子ども、高齢者や障がい者にとっては

難しいことなどに気付かないでいることはありませんか。
人権問題は、人が暮らす社会の中で起こる、人と人の問題ですから、解決するにはお互いを尊重し、立場や状況を理解する学習が必要です。学習で大切なことは、話し合いです。小地域座談会で深く話し合い、相互理解と、互いの共通問題として意識を高めることが大切です。

話し合いによって、心の持ち方と地域のあり方、行政に要望することなど、みんなが楽しく生きがいを持って暮らせる社会を目指します。小地域座談会は、このことを進める絶好の機会です。

【座談会開催の自治会は?】

小地域座談会は毎年度開いていたのですが、本年度は2月10日現在で、全51自治会のうち29の自治会で開催または今後開催が決まっています。

【話し合いの内容は?】

本年度は、町の大きな課題

でもある「高齢者の安全・安心な暮らし」について、高齢者の人権をテーマとした話し合いを進めています。

現在までの状況では、ビデオ「老いを生きる」を見て話し合う自治会が8割となっています。このほかの人権問題や地域の課題についても、それぞれの地域の実情で決めています。

【よりよい地域づくりとして】

座談会は、子どもから高齢者まで、みんなが明日に希望を持って、生きいきと安心して安全に暮らすための話し合いで、みんなの学びの場です。人権尊重を基本に、よりよい地域づくりを進めるための話し合い活動です。

【全自治会で開催を】

本年度も、あと1か月余りとなりました。開催予定のない自治会では、ぜひ小地域座談会で地域の実情を話し合っています。いただきますようお願いいたします。